

は いちはら福祉ネットの 通信

発行／中核地域生活支援センター  
いちほら福祉ネット  
(千葉県委託事業)

☎ 0436-23-5300  
FAX 0436-23-5225  
Mail ichihara\_f.net@bh.wakwak.com

HP はこちら→ 

VOL. 63  
2022.8.1発行

## 大切なペットと暮らすために考えてみませんか？ 福祉×地域×ペット問題



ペットは、飼い主にとって大切な家族の一員。動物を飼うことは、生活に安らぎと潤いを与えてくれます。しかし一方で、多頭飼育や動物虐待など適切な飼育がされていない、異臭による近隣トラブル、ペットが取り残されるといった問題も起こっています。

今回の一と通信では、ペット問題に尽力されている方々にお話を伺いました。

### ■地域包括支援センター(以下包括センター)の皆さん

#### 包括センターではペットに関する相談はありますか？

市原市内には9カ所の包括センターがあります。ペットに関しては、それぞれ年間2～5件ほどの相談があります。イヌよりもネコに関する相談が多いです。

#### どのような相談がありますか？

- 高齢の親御さんが入院され、訪問してみたらひきこもり状態の息子さんと20頭以上のネコがいた。
- 障がいのある親御さんと不登校の子がいる世帯で、イヌとネコが10頭以上いて不衛生な環境の中で暮らしている。
- 認知症のお母さんと同居する娘さんが病気で働けなくなった。大型犬のエサ代がかかり困窮している。
- 障がいのある方が2日間食事をしていないと言うので理由を聞くと、ペットのエサ代がかかり、自分たちの食事を我慢していると話した。
- 一人暮らしの高齢者宅。家は散乱していて複数のネコが自由に出入りし、子ネコも産まれている。
- 空き家にイヌやネコが棲みついている。誰かがエサをやっているようだ。
- 飼い主が寝たきりとなり、ホームヘルパーの訪問回数が増えたら飼いネコがストレス状態になった。
- 多頭飼育だと近所から注意され、不妊去勢手術代がないので捨てるしかない(遺棄は虐待です)。

このような相談を受けています。

#### どのように対応されていますか？

##### ① 緊急時の対応

飼い主が緊急入院などの場合は、親族・民生委員・近隣の方へ連絡し協力を得ることも多いです。時にはヘルパーさんや包括職員が一時的に対応することもあります。

##### ② 飼い主が高齢になり飼育できなくなった

ペットがいるから入院や施設入所をしたくないという方は減ってきています。でも、人間と同様にイヌやネコの寿命も延びていますので、きちんと飼育できているか、困っていないか、飼えなくなる前に早めに相談をしてもらうよう飼い主への意識づけを心がけています。急にペットの保護をしなくてはいけない場合、包括センター間で情報共有をしたり、動物ボランティアの方にSNSで呼びかけていただき里親が見つかったこともあります。

##### ③ 飼育費用が捻出できない

その世帯の経済的問題については、家庭状況を見ながら関係機関と連携し支援を行っています。

##### ④ 多頭飼育崩壊や野良ネコの餌付け

多頭飼育問題には、行政・地域住民・市内外の動物保護活動団体などと連携し協力を得ながら取り組んでいます。里親探しや不妊去勢手術、譲渡時の受診など費用面での調整が大変です。飼い主の抱える課題として、経済的問題、健康問題、他者との関係性の問題等があり、飼い主の生活状況の悪化や判断力の欠如、動物の状態の悪化、周囲の生活環境の悪化と連鎖しています。包括センターだけでなく行政・地域・介護・福祉分野みんなで支援していく必要を感じます。

### ■NPO法人ねこけん千葉支部 高橋支部長さん

#### どのような活動をされていますか？

殺処分「0」を目指し、飼い主のいないネコ達のTNRをメインに、ネコの保護・里親探し・ネコに関する相談対応等で殺される命を救う活動をしています。

会員は100名くらいですが、仕事をしながらのボランティアを行っています。月2回譲渡会を開催しています。



©公益財団法人どうぶつ基金

■いちほら地域ネコの会 河村事務局長さん

どのような活動をされていますか？

いちほら地域ネコの会は、「国分寺台街づくり協議会」が母体となって立ち上げたボランティア団体です。飼い主がないネコをこれ以上増やさない、市原市のネコたちを幸せにしてあげたいので、TNR活動を頑張りたいと思っています。会員は約100名ですが実際に活動できる人が少ないので、ボランティアを募集中です。不妊去勢手術に関する相談も受けています。

地域ネコとは

地域の理解と協力を得て、地域住民の認知と合意が得られている、特定の飼い主がないネコのこと。捕獲されて不妊去勢手術を受け、耳の先端が桜の花のようにVカットされている。さくらネコともいう。



皆さんにお話を伺い、ペットと幸せに共存していくためには、配慮と責任をもって関わること、困る前に早めに相談することが大切だとわかりました。

ペットを飼う、その前に

ペットを飼う前に、次のことを確認してみましょう。また、飼い主もペットも歳を重ねます。今だけでなく、先のことも考えて決断しましょう。

- ★ペットの世話に、毎日時間をかけられますか？
- ★世話する体力や飼い続けるお金がありますか？
- ★ペットが飼える環境がありますか？
- ★自分に何かあった時、代わりに世話をしてくれる人がいますか？
- ★ペットを一生、愛情と責任を持って飼うことができますか？

ペットと暮らす「さ・し・す・せ・そ」

- さ 最後まで飼おう
- し しつけは最初が肝心
- す すぐに相談
- せ 責任を持てる頭数で
- そ そなえはしっかり



さいごに — みんなで協力 —

保護活動や不妊去勢手術には人手も費用もかかります。「誰かがやってくれる…」ではなく、人とペットの笑顔のために一人ひとりができること、考えてみませんか？

もっと詳しく知りたい方は

■NPO法人ねこけん千葉支部

<https://ameblo.jp/nekoken-chiba/>

■いちほら地域ネコの会

<https://tiikinekonokai.wixsite.com/ichineko>

**1頭のメス猫が・・・**

**1年後には20頭以上**

**2年後には80頭以上**

**3年後には2000頭以上**

- ★メス猫は生後4～12ヶ月で子猫を産めるようになり、年に2～4回出産し、1回に4～8頭の子猫を産みます
- ★犬も増える速度は違いますが同様です。メス犬は生後6～9ヶ月で子犬を産めるようになり、年に約2回出産し、1回に5～10頭の子犬を産みます

出典 環境省パンフレット「もっと飼いたい？」

## 千葉県中核地域生活支援センター大会 in 2022

### テーマ

地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築  
～つながり続けることの意味と重要性～

今回の大会は、重層的支援体制における基本的な考え方、制度や地域の課題、これまでの取り組みの経緯、今後の仕組みづくりに向けて問題意識を共有し、連携を深めていくことを目的としています。今年度はZOOMウェビナーを活用して、会場開催・オンライン開催します。

【日時】2022年8月30日(火) 13時～17時

【内容】2021年度中核センター活動報告、基調講演、  
パネルディスカッション

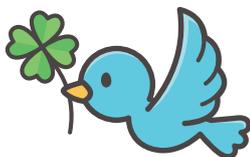
【場所】千葉大学西千葉キャンパス203講義室

【参加定員】会場100名程度

オンライン500名程度

【問い合わせ先】

さんネット  
※QRコード



## 千葉いのちの電話 ボランティア相談員募集

千葉いのちの電話とは、精神的な危機に直面し、つらい思いをしている方が自ら生きる力を回復できるように話を聴き、寄り添う、無償のボランティア団体です。

ただいまボランティアの相談員を募集しています。悩んでいる方の力になりたい、人とのつながりを持ちたいなど、相談員活動にご興味のある方は、ぜひ応募してください。



【応募資格】

- ①年齢20歳以上
- ②資格・経験不問
- ③基礎研修講座と宿泊研修に出席できること

【応募方法】

下記のWEBから応募書類をダウンロードして郵送にて申込み

【申込締切】2022年9月9日(金) ※当日消印有効

【応募面接】2022年10月2日(日) 14時～16時

【問い合わせ・申し込み先】

社会福祉法人千葉いのちの電話 事務局  
電話 043-222-4416  
FAX 043-227-6911  
WEB <http://www.chiba-inochi.jp>



### テーマ

## 管理者会を通じて、見えてくる課題

去る5月31日、市原圏域のグループホーム(以下「GH」)の管理者が集い、ZOOMにて令和4年度第1回管理者会を開催しました。当日は16事業所、21名が参加。始めに千葉県健康福祉部障害福祉事業課事業支援班永島氏より千葉県のGHの状況についてご講演いただきました。その後、参加者で意見交換を行い、現在のGHでの悩み事や課題等が多数出されました。主な内容として、①コロナ禍の過ごし方 ②入院中の空き部屋について ③防災(訓練)について ④職員の求人、職場定着 ⑤利用者間のトラブル対応 ⑥指定相談支援事業所との連携。これらの意見に優先順位は付け難く、利用者にとっては、GHで過ごすのに大事な項目ばかりです。

近年、市原市のGHは増え続けて令和4年5月の時点で78軒あり、今後も毎月のように新規に開設される見込みです。

今後、利用者がGHを探す際、いくつかの空き部屋から選ぶこととなるでしょう。その時に、利用者から求められるのはGHの質です。管理者会を通して、GHの質がより高まるきっかけとなれたらと考えています。





## 旬の食材を使ったヘルシーメニュー

夏バテ防止をして、暑い夏をのりきろう！

# きゅうりとトマトのさっぱり和え

(1人分：109Kcal)

材料  
(4人分)

きゅうり 1本、ミニトマト 12個、みょうが 2本  
A(ごま油 大さじ2、醤油 大さじ1と1/2、白いりごま 大さじ2)  
きざみ海苔 お好みで

- 作り方…① きゅうり、みょうがは乱切り、ミニトマトは半分に切る。  
② ボウルにAを入れて混ぜ①を入れ混ぜ合わせる  
③ 冷蔵庫で冷やしてお皿に盛り、お好みできざみ海苔をかけて完成。

### 栄養士さんからのおすすめの一言・・・

「きゅうりは汗と共に失われるカリウムを多く含むため夏バテ対策に、トマトは疲労回復効果をもたらすクエン酸や抗酸化作用があるビタミンCやリコピンも豊富なため夏の厳しい紫外線によるダメージを受けた肌の回復にも効果的です。」

今回のレシピは、特別養護老人ホーム グランモア和光苑 栄養士の阿部祐香様に提供していただきました。

## いちほら福祉ネット主な活動報告

### 【4月～6月】

- 5/26 第1回中核地域生活支援センター連絡調整会議(障害部会)
- 5/31 市原市障がい者支援協議会
- 6/27 いちほら健幸まちづくりプラン自殺対策ワークショップ(第1回)
- 5/17 市原市相談機関連絡会
- 4/26・5/31・6/28 市原市要保護児童対策地域協議会 実務者会議
- 5/16・6/3 市原市精神保健福祉フェスタ実行委員会
- 4/21 市原市認知症対策連絡協議会 総会
- 4/4・5/19・6/30 市原市認知症対策連絡協議会 役員会
- 4/19・5/17・6/14 加茂地区民生委員児童委員協議会 定例会
- 5/ 9 千葉県精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業市原圏域実務者会議
- 4/22・5/27・6/24 市原地域リハビリテーション広域支援センター ちーき会
- 5/13 第1回特別支援学校特別支援教育コーディネーター連絡協議会
- 6/17 県立生浜高校第1回学校運営協議会
- 5/16 第1回千葉県社会福祉協議会制度政策調整委員会
- 4/26 千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会 総会
- 4/26・5/24・6/28 千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会 定例会
- 5/14・6/2・6/21 千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会 制度政策委員会
- 5/27 市原市相談支援事業所連絡会「銀杏の杜」勉強会
- 6/20 千葉県精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業市原圏域研修会
- 6/30 令和4年度精神保健福祉研修 担当者研修
- 5/12 DV・児童虐待相談新任職員研修Ⅱ部
- 6/20 DV・児童虐待相談新任職員研修Ⅲ部
- 4/22 貧困問題に関する懇談会
- 4/25・5/6・6/22 司法と福祉千葉モデル勉強会
- 5/25 千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会 第1回研修部会
- 4/16・5/21・6/18 ちはら台地区福祉総合相談
- 4/19・5/17・6/21 青葉台地区福祉総合相談

今、地域では従来の血縁や地縁ではない新たなつながりを再構築しており、それを「地域共生社会」と呼んでいます。

今年度の中核センター大会では、その地域共生社会を進めていくためにどのような支援体制を構築していくのかを考えていきます。市原市の報告もありますので、ぜひ多くの方のご参加をお待ちしています。

いちほら福祉ネットへの相談件数			
(速報値)			
令和4年4月～令和4年6月			
延相談件数 994件(新規89件)			
相談方法	対象者		
電話	785件	高齢者	80人
訪問	138件	障害者	436人
来所	59件	児童	56人
関係者会議	12件	その他	422人
-----			
令和4年度(4月～6月)		延相談件数 994件	

### 編集後記



いちほら福祉ネットでは5月に植えたゴーヤがぐんぐん伸びて、最近になって立派な緑のカーテンが出来上がりました。真夏の暑い日差しを遮ってくれるので、涼しい気分になります。収穫した実はチャンプルーや胡麻和えにして食べるのが楽しみです。(スタッフ一同)